

Java ベースの SL-GMS リアルタイム・ダイナミック GUI ツールが、富士通様による高速道路施設監視システムの開発で採用

SL-GMS J/Developer が、膨大な数の設備装置で構成される何百ものグラフィック画面の開発と高速な Web 運用を強力に支援

2016年7月19日 プレス・リリースより

リアルタイム・データのグラフィックな可視化と監視でリードする SL ジャパンは、富士通株式会社（以下「富士通」）が高速道路施設監視システムの開発で、SL 社の Java ベースの GUI/HMI ツールである SL-GMS J/Developer を使用していることを発表しました。

富士通では、高速道路における ITS（インテリジェント交通システム）や施設監視など、社会インフラである道路事業に関連するシステムのコンサルならびに開発と運用サービスと、そのネットワーク・インフラの提供で豊富な実績を重ね、安全・安心・快適な高速道路の維持運営に貢献しています。施設監視では、情報板や照明など高速道路上に設置された常時連続稼働しているさまざまな設備の運転状況を中央監視して遠隔制御するシステムの開発に、SL-GMS を使用しています。

高速道路の施設監視システムでは、多数の管理局や遠制局ごとに、膨大な数の設備装置で構成される何百枚もの複雑な監視画面の開発が伴います。SL-GMS では、SL-GMSDraw エディタを使って、警報色が変わる、系統図の結線が動く、機器の入り切りなど、多種多様の動的属性を持った装置グラフィック部品を対話的に作成し、再利用して変数名（表示する監視データ源）を変更しながら多数展開し、さらに他の監視画面へと複数展開することが可能です。

☆プレス・リリース全文:

www.sl-j.co.jp/newsevents/pressrelease/2016/slj_press_160719.shtml

☆詳細の事例PDF: 会社名・お名前・お電話番号・E-mail のご入力が必要です。

https://www.sl-j.co.jp/products/resources/download/users_fujitsu.html



(事例より) トンネルにおける防災設備監視画面例
この1画面のみで、非常電話、スプリンクラー、消火栓など、それぞれ何十もの機器グラフィック・オブジェクトで構成されています。



(事例より) 受配電設備監視画面例
ビル、照明、エレベータ、所内電灯、防災・保守などへの受配電設備を系統図で監視しています。

SL-GMS カスタム・エディタで独自の描画コマンドを作成【新デモビデオ】

SL 社が長年提供してきたカスタム・エディタ技術は、世界のさまざまなソリューションや製品で SL-GMS が選択されてきた大きな理由の一つです。現に、SL-GMS を組み込み再販している製品のほとんどが、そのシステム専用のエンドユーザ顧客/現場サポート向け編集環境として提供されています。

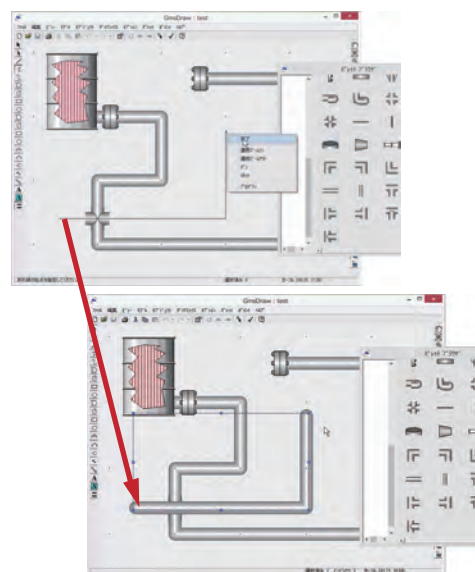
そして、エンドユーザのお客様や現場サポートでは、その製品独自の部品や背景をパレットから選択して画面を構成したり、システム固有のデータソース（タグ・データなど）にメニュー選択で接続するなど、ポイント＆クリックの簡単操作で画面をカスタマイズできます。

さらにデモビデオでは、立体感のある配管オブジェクトを一度の操作で描画できる「独自の描画コマンド」をカスタム構築した例をご紹介します。SL 社のカスタム・エディタ構築ツールによって、開発するシステムやソリューション固有のエディタの開発工数を、数人年から数人月に削減でき、自製では実現できない編集環境を安価で提供できます。

☆カスタム・エディタで、立体感のある配管オブジェクトを描画できる

「独自の描画コマンド」の実装例のデモビデオ(3分42秒):

www.sl-j.co.jp/demovideo/dotnet/CustomEditorForDotNet/CustomEditorForDotNet.html



IoT など複数現場から異種性能データを集約して見える化 サービスや事業に応じてカスタム構築する監視ダッシュボード事例とデモ

去る9月16日(金)にJPタワーホール&カンファレンス(KITTE)で開催された Application Performance 2016 で、SLジャパンの代表取締役社長である羽島良重が、「IoT など複数現場からの異種性能データを集約して見える化」について、スポンサー講演しました。

分散したデータセンターや事業所、工場や施設などで収集されているさまざまな既存の監視データをリアルタイムに集約し、サービスやオペレーションに関連付けて一元可視化する性能監視ダッシュボードの「カスタム構築」について、お客様事例とデモンストレーションを交えて解説しました。

たとえば、(生産、電気、ITなどの)設備監視の場合、複数の工場やビルにおける稼働状況を地図上で把握できるサマリー画面から、アラートが出ている特定の工場やビルにドリルダウンし、さらにフロア全体を見るアラート画面から特定の設備詳細へとドリルダウンし、関連するサービス、環境、気象、セキュリティなどの状況とともに確認できる監視ダッシュボードを、RTViewのポイント&クリックのビルダーを使って、短期間でカスタム構築することができます。

IoTデータ監視ダッシュボードやDCIM(データセンター・インフラ管理)+サービス状況などのデモの他、実際にiPadやiPhoneで米SL本社にあるRTViewサーバにアクセスし、クラウドで稼働するサービスのアプリケーション・インフラを監視。また、ポイント&クリックのRTViewビルダーを使った監視ダッシュボードの「カスタム構築」とWeb運用を実演しました。

☆「DCIM(データセンター・インフラ管理)+サービス状況」更新デモビデオ(1分03秒)

http://www.sl-j.co.jp/demovideo/ertv/DCIM_demo_video3/DCIM_demo_video3.html

☆「IoTデータの監視ダッシュボード」新デモビデオ(0分57秒)

http://www.sl-j.co.jp/demovideo/ertv/RTV_IoT_data/RTV_IoT_data.html



RTView の HTML5 テーブル・オブジェクト【新デモビデオ】

RTView では、昨夏にリリースした V6.6 より、RTView ディスプレイ・サーバによるシンクライアント運用で利用できる新しい HTML5 テーブル・オブジェクトを追加しています。

この新しい HTML5 テーブルは、Telarik 社が開発した Kendo Grid を統合したもので、複数カラムでソート、複数カラムでフィルタリング、カラム・リサイズ、カラム並べ替え、カラム非表示など数々の対話的な操作機能を実装し、使い勝手をさらに強化しています：

- ドラッグによるカラム位置の変更
- 設定内容のブラウザ側での保存
- 複数カラムによるソート
- レコード(行・列)のカラー選択プロパティ・ダイアログ
- カラム表示の制御
- 頁ごとの行数指定表示
- フィルタリング(表示データの絞り込み)
- 特定カラムの固定表示 など



☆「HTML5 テーブル・オブジェクト」新デモビデオ(1分57秒)

http://www.sl-j.co.jp/demovideo/ertv/html5_table_object/html5_table_object.html



株式会社 SL ジャパン

〒107-0062 東京都港区南青山3-8-5 アーバンプレム南青山 3階
Tel. 03-3423-6051 info@sl-j.co.jp www.sl-j.co.jp

Real-Time Visibility

年3回発行 2016年9月28日発行 通巻55号

◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。